

# 岩手郡医報

題字 高橋 孝



絵 高橋 孝

岩手郡医師会  
No.80/2005年3月

### 表紙のことば

独楽（こま）は新年の季語だそうです。独楽は、これで今年1年間こまらないというので縁起が良いとのこと。独楽の色は交通事故に会わない様に交差点の信号の色にしました。  
ぐれぐれも○○ったとは考えませんように。

零石町 高 橋 孝

## 巻頭言



# 「若い先生達よ 医師会活動に大いに参加しよう」

岩手郡医師会 副会長  
高橋 孝

平成17年初めての「岩手郡医報」です。遅いご挨拶ですが、新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはご家族お揃いで良い年をお迎えのこととお慶びもうしあげます。

巻頭言などとおこがましいことですが、理事順送りとの編集委員長のお言葉ですので、長い間「生涯教育担当理事」を務めてまいりましたので、これらについて触れさせていただきます。

生涯教育制度は日本医師会の大きな事業です。将来医師免許の更新が必要となった時、公立病院就職時などなど沙汰があり申告することが大変重要であります。新しい制度になってより一部自動化されましたが、それでも申告制度も存続しております。県医師会のなかで岩手郡はいつもワーストスリーでした。申告をして下さい。

また野球大会、ゴルフ大会など県医師会の催事、総会、講演会に参加していただきたい。特にも「医療水準」の位置づけと言われている、社会保険指導者講習伝達会など大切な講習会もあります。

最近「小児救急」が大きく取り上げられてまいりました。「子供は大人を小さくした人間ではないんだ。小児科は難解な学問だ！」とある小児科の教授がお話しになつたのが耳の奥に残っております。外科を専攻してきて、此のことは私のみとも思いますが、古希を過ぎてより小児科を勉強しても解らないことのみ多く、当番医のときは盛岡の小児科の先生にもご迷惑をお掛けしています。

若いうちは患者さんにおわれ、診察に忙しいことは重々知っていますが、若い先生ほど医師会活動に参加していただきたいと願っております。

## 目 次

卷 頭 言 ..... 岩手郡医師会 副会長 高 橋 孝 ..... 1

### 総会議事録

平成16年度 岩手郡医師会臨時総会議事録 ..... 総務担当理事 久保谷 康 夫 ..... 2  
特別講演 佐藤一斎の『言志四録』に学ぶ人間学 ..... 作家 神 渡 良 平 ..... 3  
叙勲受章者及び大臣表彰受彰者祝賀会 ..... 4

### 総務会報告

平成16年度 第4回岩手郡医師会総務会 ..... 担当理事 篠 村 達 雅 ..... 5  
平成16年度 第5回岩手郡医師会総務会 ..... 担当理事 篠 村 達 雅 ..... 5  
平成16年度 第6回岩手郡医師会総務会 ..... 担当理事 篠 村 達 雅 ..... 5

### 理事会議事録

平成16年度 第4回理事会議事録 ..... 総務担当理事 久保谷 康 夫 ..... 5  
平成16年度 第5回理事会議事録 ..... 総務担当理事 久保谷 康 夫 ..... 6

### 部 会 報 告

学校医部会 ..... 担当理事 上 原 充 郎 ..... 7  
生涯教育部会 ..... 担当理事 高 橋 孝 ..... 8  
広報部会 ..... 担当理事 栄 内 秀 彦 ..... 8  
総務・保険・地域医療部会 ..... 担当理事 久保谷 康 夫 ..... 8  
勤務医部会 ..... 担当理事 岡 田 行 生 ..... 9  
産業医部会 ..... 担当理事 三 善 悟 ..... 10  
健康教育部会 ..... 担当理事 飯 島 仁 ..... 10  
医療保険・労災部会 ..... 担当理事 佐々木 久 夫 ..... 12

新入会員の自己紹介 ..... 渋民中央病院 清 水 光 昭 ..... 12

### 岩手県小児科医会報より

..... 上原小児科医院 上 原 充 郎 ..... 13  
..... 山田小児科内科医院 山 田 わか子 ..... 14  
..... 伊藤小児科医院 伊 藤 伸 郎 ..... 14  
..... 山口クリニック 山 口 淑 子 ..... 15  
..... 東八幡平病院小児科 藤 井 裕 ..... 16

### お 知 ら せ

岩手郡医師会会員・家族等の健康診断実施について ..... 16

## 総会議事録

### 平成16年度 岩手郡医師会臨時総会議事録

総務担当理事 久保谷 康夫

日 時：平成16年11月27日(土)  
 午後3時半～4時半  
 場 所：マリオス 5階 第2会議室  
 出席者の確認：委任状を含め78名の参加であつた。定款に定める定数を満たしたため会の開催を宣言した。  
 議長選出：議長に高橋孝副会長を選出した。  
 会長挨拶：及川忠人会長が挨拶した。

#### [議 事]

##### 第1号議案：岩手郡医師会自浄作用活性化委員会の設置について

日本医師会ならびに岩手県医師会においてはすでに、医師会自浄作用活性化委員会が設置されていることなどの提案理由を説明した。また、第2条（設置及び目的）委員会は、会員個々が自ら医の論理を認識し、実践するための具体策を検討し、国民の不信感を払拭することを目的とする、などの設置要綱案を上程し、全会一致で承認された。

##### 第2号議案：役員に対する慰労金及び功労金の支給ならびに特別表彰について

前会長ならびに3名の前理事に対する慰労金および功労金について、岩手郡医師会定款施行規則の定めるところにより上程し、全会一致で承認された。

尚、このことに関連して、臨時総会終了後の特別表彰などにおいて、当該4名に表彰状および感謝状を贈呈した。

##### 第3号議案：岩手医学会の会費納入について

岩手医学会の会費に関しては、長年にわたり医師会会費から全会員分を支払っている。しかし、岩手県下の都市医師会において、医師会が当該学会費用などを代位支払いしている会は皆無である。また、会費の性質上会員個々による支払いが適正であると判断した。そこで平成17年度よりは、会員個々が岩手医学会会費を納入することを希望するとして上程した。審議の結果、平成17年度から、個人支払いとした。

以上で議事を終了した。

## 特別講演 「佐藤一斎の『言志四録』に学ぶ人間学」



作家

神 渡 良 平 先生

佐藤一斎は徳川幕府唯一の大学であった昌平黌で儒官を務めていました。幕末当時の藩校は230余りありましたが、そこで学んだ子弟の中で優秀な者は江戸の昌平黌に遊学し、佐藤一斎の下で学問しました。従って、ペリーが来航し、恫喝外交をもって日本を震撼させた頃の優秀な青年の中で、佐藤一斎について勉学しなかった者はないともいえます。

その佐藤一斎がほぼ十年置きに書き上げ、勤皇、佐幕を問わず、武士たちを奮い立たせたのが、志について述べた四冊の本『言志録』『言志後録』『言志晩録』『言志叢録』（あわせて『言志四録』と読んでいる）でした。従って幕末、及び明治の日本を語るとき、『言志四録』を抜きにして語ることはできません。

その一節、「少くして学べば、則ち壯にして為すあり。壯にして学べば、則ち老いて衰えず。老にして学べば、則ち死して朽ちず」は、小泉首相もその演説の中で言及した通り、志を立てて学べば、その精神を引き締めることを語ってくれています。

## 叙勲受章者及び大臣表彰受彰者祝賀会

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡本館 4階

特別講演の後、ホテルメトロポリタン盛岡本館に場所を変え、叙勲受章者・大臣表彰受彰者への記念品及び花束贈呈を行いました。

### 叙勲受章者・大臣表彰受彰者への記念品及び花束贈呈

瑞宝双光章受章 秋濱 晃 先生

(御子息の秋濱 玄先生が代理でお祝いを受ける)

厚生労働大臣表彰受彰 高橋 牧之介 先生



高橋牧之介先生と秋濱 晃先生代理のご子息ご夫妻  
(左より 秋濱朋子先生、秋濱 玄先生、高橋牧之介先生、及川忠人会長)

長年に渡り岩手郡医師会役員として御尽力下さった先生方の特別表彰を行いました。

### 岩手郡医師会特別表彰

高橋 牧之介 先生

八角 正司 先生

坂井 博毅 先生

根本 忠夫 先生



八角正司先生



根本忠夫先生

## 総務会報告

担当理事 篠村 達雅

### 第4回 総務会

日 時：平成16年9月2日(木)  
午後6時半  
場 所：財団法人みちのく愛隣協会事務室  
出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、  
西島康之副会長、久保谷康夫、  
篠村達雅、柄内秀彦の各理事、  
佐々木清事務局長

### 第6回 総務会

日 時：平成17年2月18日(金)  
午後6時～8時  
場 所：ホテルメトロポリタン盛岡  
NEW WING  
出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、  
西島康之副会長、久保谷康夫、  
篠村達雅、柄内秀彦の各理事。

### 第5回 総務会

日 時：平成16年11月19日(金)  
午後6時  
場 所：ホテルメトロポリタン盛岡  
出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、  
西島康之副会長、久保谷康夫、  
篠村達雅、柄内秀彦の各理事。

## 理事会議事録

総務担当理事 久保谷 康 夫

### 平成16年度 第4回理事会議事録

日 時：平成16年10月27日(水)  
午後6時  
場 所：ホテルメトロポリタン盛岡  
NEW WING  
出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、  
西島康之副会長、飯島仁、  
岡田行生、久保谷康夫、紺野敏昭、  
篠村達雅、柄内秀彦、成島勝之助、  
三善悟の各理事。  
【会長挨拶】  
及川会長より挨拶があった。

## 【報告事項】（及川会長）

1. 救急医療懇談会及び特別講演(9月6日)について報告した。
2. 岩手県医師会親睦ゴルフ大会(9月26日)の決算報告について報告した。
3. 救急蘇生法研修会(9月28日)について報告した。
4. 平成16年度第2回都市医師会長懇談会について報告した。
5. 第3回都市医師会長協議会(10月16日)について報告した。
6. 盛岡地域保健医療協議会(10月19日)について報告した。

## 【協議事項】

1. 町村民健講座について(開催日…10月30日)承認した。
2. 労働基準監督署による「労働条件の自主点検」の実施について承認した。
3. 盛岡保健所による診療所の立ち入り検査の実施について承認した。

4. 自浄作用活性化委員会の設置案(継続審議)について検討した。
5. 各町村における休日当番医の救急医療実態把握の方法について承認した。
6. 臨時総会(11月27日)の提案事項について協議し承認した。
  - 1) 自浄作用活性化委員会の設置(案)
  - 2) 慰労金及び功労金支給(案)について
  - 3) その他
7. 臨時総会・特別講演会及び祝賀会開催役割分担について承認した。
8. 「岩手県医師会地域医療グランドデザイン策定」への対応について承認した。
9. 国体冬季スキーワールドカップ(2月18日～26日)への協力について承認した。
10. 岩手医学会の会費納入の件について承認した。
11. 国民皆保険制度を守る署名運動について承認した。
12. 今後の主要行事計画について承認した。

## 平成16年度 第5回岩手郡医師会理事会

日 時：平成16年12月14日(火)  
午後6時半  
場 所：ホテルメトロポリタン盛岡 本館  
出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、  
西島康之副会長、飯島仁、  
岡田行生、上原充郎、久保谷康夫、  
紺野敏昭、佐々木久夫、篠村達雅、  
柄内秀彦、成島勝之助、三善悟の  
各理事。

## 【会長挨拶】

及川会長より挨拶があった。

## 【報告事項】（及川会長）

1. 盛岡地域メディカルコントロール協議会(11月30日)について  
救急救命士の気管内挿管などについて報告した。
2. 盛岡市医師会新A会員オリエンテーション(11月30日)について報告した。
3. 地域医療グランドデザインワーキンググループ会議(12月9日)について報告した。
4. 盛岡地区児童虐待防止連絡協議会(12月8日)について報告した。

**5. 都市医師会長会議(12月11日)について**

子宮癌・乳がん検診の改正について、個人情報保護法について、県医師会のテレビ会議システム導入について及び医療廃棄物処理について並びに医師連盟の現況について報告した。

**6. その他**

盛岡地域保健医療計画改訂にかかる作業班会議について報告した。

**【協議事項】**

**1. 今後の郡医師会の会計処理について**

一般会計の執行額等、特別会計及び

休祭日当番医会計について報告し、承認した。

**2. 「岩手県医師会地域医療グランドデザイン策定」への対応について承認した。**

**3. 今後の「混合診療解禁反対」の署名運動について**

署名者合計は5,063名であることを報告し、今後とも署名活動継続について承認した。

**4. 岩手県医師会親睦野球大会準備委員会の設置について**

岩手郡医師会担当による平成18年8月開催の県医師会野球大会について報告し、準備委員会の設置を承認した。

## 平成16年度 部会報告

### 学校医部会

担当理事 上原充郎

**1. 第1回岩手県医師会学校医部会幹事会**  
日 時：平成16年7月10日(土)

**2. 第1回学校保健担当理事打合せ会**

日 時：平成16年8月5日(木)

**3. 第16回東北学校保健・学校医大会**  
(第58回東北医師会連合会総会並びに

学術大会学校保健分科会として)

日 時：平成16年9月11日(土)

場 所：山形県

**4. 岩手県教育委員会と岩手県医師会との懇談会**

日 時：平成16年9月15日(水)

**5. 小児救急電話相談事業開始**

日 時：平成16年10月1日(金)

**6. 第35回全国学校保健・学校医大会**

日 時：平成16年10月30日(土)

場 所：福島県

**7. 第21回岩手県学校保健・学校医大会**

平成16年度学校医部会総会

日 時：平成17年1月16日(日)

**8. 第2回岩手県医師会学校医部会幹事会**  
平成17年1月16日(日)

**9. 日医主催平成16年度学校医講習会**

平成17年2月26日(土)

場 所：日本医師会

**10. 日医主催平成16年度乳幼児保健講習会**  
平成17年2月27日(日)

場 所：日本医師会

## 生涯教育部会

担当理事 高橋 孝

巻頭言を参照して下さい。

## 広報部会

担当理事 栢内秀彦

## 1. 平成16年度岩手県医師会 広報部会

平成16年5月15日に岩手県医師会  
広報委員会、いわて医報編集委員連絡  
協議会が開かれ、栢内秀彦理事が出席  
した。

## 2. 平成16年度岩手郡医師会 広報部会

会報編集委員会を5回開催し、会報  
を16年度中に3回発行の予定。

## 3. JA岩手厚生連への投稿

及川忠人会長と久保谷康夫理事が投  
稿をした。

## 4. 第4回岩手郡医師会 広報部会

日 時：平成16年10月26日(火)  
午後7時

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡

本館

出席者：及川忠人会長、栢内秀彦、  
成島勝之助各理事、山口淑子、  
植田修、秋濱朋子各編集委員

## [協議事項]

- 1) 会報第2号の校正および内容の検討を行  
った。
- 2) 会報第3号の内容について成島理事より  
説明があった。
- 3) 平成17年度会報発行の予定について話  
し合いを持った。

## 総務・保険・地域医療部会

担当理事 久保谷 康夫

今年度から保険担当理事を拝命しました。  
幸い保険問題などの重大な報告事項は発生  
しませんでした。そのような中にあって、県  
内の公的医療機関で保険医療機関指定問題  
が発生しました。岩手郡医師会会員には、療  
養担当規則を尊守されて日常診療に臨まれ

ることをお願いいたします。

さて、昨年度まで地域医療を担当してお  
りその関係で、平成16年8月7日、岩手郡  
医師会地域医療担当者と郡歯科医師会地域  
医療担当者の合同協議会を開催しました。歯  
科医師会との病診連携や診診連携について

話し合いを持ちました。

また、平成16年9月6日、岩手郡医師会理事と岩手郡を構成する町村の救急医療担当者並びに盛岡地区広域行政の消防本部及び消防分署担当者が会同して、岩手郡の救急医療に関する協議を行い、岩手郡医師会救急医療対策協議会を設置することとしました。

さらに、3年前から引き続き、平成16年度盛岡地区児童虐待防止連絡協議会議（平成16年12月8日）に出席しました。

県医師会野球大会が例年通りに、平成16年8月22日、水沢市医師会において開催され、岩手郡医師会は見事第3位の成績を収めました。

今年度の特記すべき活動としましては、岩

手郡医師会の主たる担当で、第38回岩手県医師会親睦ゴルフ大会を岩手沼宮内カントリークラブで開催したことです。「ショットガンスタート」という過去にない方法でスタートし、参加者総勢130名が一同に介した表彰式・親睦会を開催することができました。小生は、大会運営委員長を拝命しましたが、多数の岩手郡医師会会員の皆様方のご協力により、「見事だった 面白かった」と県医師会の多くの会員の皆様方の感想を頂きました。

また、郡医師会を代表して、JA岩手厚生連の原稿を執筆する機会に恵まれました。「混合診療と予防医学」と題して投稿いたしました。

## 勤務医部会

**担当理事 岡田行生**

岩手県医師会勤務医部会は全国の医師会の中でも、歴史も古くよく活動していると評価されているようです。最近勤務医の医師会加入率の低下が目立ち、幹事会でも何度か協議事項に取り上げられていますがよい解決策は無いようです。病診連携や地域連携を通して勤務医と開業医との話し合う場を増やす工夫が必要かもしれません。

### 1. 第98回岩手県医師会 勤務医部会幹事会並びに盛岡市 岩手郡 紫波郡 医師会勤務医部会会員懇談会

日 時：平成16年8月28日(土)

午後3時

場 所：岩手県医師会館 4階

今回の移動幹事会は盛岡医療圏の三医師

会合同で開かれた。

県医師会長、三都市医師会長の挨拶の後、報告協議が行われた。

協議では、沼宮内病院 岡田と八角病院遠藤がテーマに沿ってそれぞれの地域と病院について述べた。

### 2. 第99回岩手県医師会 勤務医部会幹事会並びに一関市・東磐井郡医師会 勤務医部会会員懇談会

日 時：平成17年1月22日(土)

午後3時

場 所：ホテルサンルート一関

#### 【報告事項】

- 日本医師会勤務医委員会・勤務医部会活

動状況について  
2) 岩手県地域がん・岩手県地域脳卒中登録  
事業について

1) 「精神科と他科との連携について」  
県立南光病院 副院長  
馬場 克司 先生

## 【協議事項】

テーマ：「多様化する医療連携」  
座長：勤務医部会幹事 西城 精一

2) 「緩和ケア領域における麻薬の使い方」  
県立磐井病院 緩和医療科長  
佐藤 智 先生

## 産業医部会

担当理事 三善 悟

## 1. 平成16年度 岩手郡医師会 産業医実地研修会

日 時：平成16年10月23日(土)  
場 所：岩手ファーム(有)

研修会は、岩手ファーム中村社長の挨拶につづいて、講演が行われました。講師には、岩手医科大学医学部公衆衛生学講座客員教授中屋重直先生をお招きし、「最近の職業病について」と題した講演を頂きました。

中屋先生は、作業関連疾患として手腕系振動障害の発症因子や症状、診断のための

特殊検査など林業を例に取り上げ、詳細に呈示されました。また、全産業に於ける業務上疾病の分類別発生状況の推移を述べられ、業務上疾病はここ数年、横ばいの状態にあること、負傷に起因する疾病が多く、とりわけ負傷による腰痛が最も多いということでした。

2003年の報告では、岩手県内の工業中毒症例等の事例として、CO中毒や熱中症などがあったということあります。

講演について、岩手ファームの鶏卵の生産販売部門を見学しました。

## 健康教育部会

担当理事 飯島 仁

## 1. 岩手郡医師会・町村民健康講座

日 時：平成16年10月30日(土)  
午後1時半から3時半まで  
場 所：松尾村総合福祉センター  
参加対象者：松尾村および近隣町村住民  
主 題：健康と生活機能

講 演：「健康って何だろう」  
岩手大学保健管理センター  
立身政信 教授  
講 演：「いきいきとした生活機能の向上のために」  
東八幡平病院  
及川忠人 院長

主 催：社団法人 岩手郡医師会  
共催自治体：西根町・安代町・松尾村

各町村の受講者数は西根町が115名、松尾村が70名、安代町が30名でした。

## 特別講演

# 「健康って何だろう」



岩手大学保健管理センター  
立身政信教授

「健康」は文字通り「健やか」で「康らか」なことですが、特に「健」の中にある「ふでづくり」は竹冠をかぶせれば、まさに筆であり、消化管・気管・血管などの管が通ってる身体を表しています。管が詰まれば癌や心筋梗塞や脳梗塞などの重大な病気になります。中国医学では「氣」の流れる「經絡」というもう一つの管が重要な役割を持っています。

さらに古代インド医学にまで遡ると、病気とはシュロータス（管）にドーシャ（五大：宇宙の万物を構成する5つの要素）が偏在・蓄積してアーマ（不純物）が形成された状態とされます。五大とは「地：物の原料」「水：原料を集める力」「火：原料を変換する力」「風：変換された物を移動させる力」「空：物が存在する空間」のことで、誰でもその人本来の五大バランスを持っています。ところが、ストレスによってこれが偏在・蓄積し、本来の自己（健康）が偽りの自己（病気）になるのです。

したがって、五大バランスを取り戻すと

本来の自己（健康）に戻ることができます。そのためには、①心地良い環境、②適度な運動、③消化（排泄まで）力のある食事、④完璧な休養：瞑想・座禅が必要です。

①の環境には自然環境とそこに生きる人々が作る社会環境があります。こうした環境は一人で作ることはできませんし、村長や保健師が作ってくれるものではありません。健康な村は、一人ひとりの知恵と力を出し合ってみんなで作るものです。また、今生きている人だけが健康であれば良いわけではありません。先祖の知恵を受け継いで作り上げた健康な村を子孫に伝えていかなければなりません。昔はみんなが周りの自然と親しみ、自然とともに生きてきました。まずはこの自然を子孫に残してあげなければなりません。

②の適度な運動は、昔は日常生活の中で歩くことや肉体労働によって行われてきました。

③の消化力のある食事は、味噌汁やお茶を飲みながら、決まった時間に、身の回り

の野菜や魚を食べることによって行われてきました。

④の完璧な休養すなわち瞑想や座禅は、朝と夕方に神棚や仏壇を拝むことによって行われてきました。

このように、古代インド医学に端を発す

る「五大バランスを保って健康を維持すること」は、年寄りが子供たちに生活の知恵として綿々と伝えてきました。今、その伝統が途絶えようとしていることを危惧せざるをません。もう一度、健康づくりの基本に戻る必要があるのではないか。

## 医療保険・労災部会

担当理事 佐々木 久夫

### 1. 社保・国保審査委員と県医師会との懇談会

日 時：平成16年12月6日(月)

場 所：岩手県医師会館

出席者：社保審査委員 27名

(86名) 国保審査委員 31名

岩手社会保険事務局

岩手県社会保険診療報酬支払基金

岩手県国民健康保険団体連合会

各都市医師会 保険担当理事

県医師会役員

各審査委員から寄せられた質問、要望、留意事項、ならびに各都市医師会側からの意見、要望等について活発な意見交換が行われた。

この詳細はいわて医報別冊の「Q&A」として報告の予定です。熟読されたい。

## 新入会員の自己紹介

渋民中央病院 清水光昭

生年月日：1966年6月29日

出身大学：川崎医科大学 平成5年卒

家族構成：妻、子供3人

今後の抱負：亡き父の後を引き継ぎまして、がむしゃらに走っております。みなさんに1日でも早く顔を憶えていただけるために頑張っていきたいと思います。特に他医師会との勝負事にはこの身を削って勝ちにいく所存ですので宜しくお願ひ致します。



# 岩手県小児科医会報より

## 岩手郡の会員の紹介

### 岩手郡医師会小児科医たちより

「岩手県小児科医会では会報を年3回発行しています。昨年から各医師会単位で、会員の紹介を会報に載せることになりました。第1回でわが岩手郡医師会、小児科医5人の紹介をしました。その原稿をそのままここに載せることにします。あらためて小児科軍団をよろしくお願ひいたします。」

### 上原小児科医院 上原 充郎



あの厳しいお顔はどこにいったのでしょうか（山口淑子）

妻、いろいろ、毎日社会活動に熱中。男女共同参画はまず家庭からと夫を改造中。

長女、医師（岩手医大第三内科）

次女、スイスにてヴァイオリンに熱中しているはず。

長男、盛岡ECHNA（レセコン医療事務用コンピューター会社勤務）ご用命の程お願い致します。

小生、62歳。医師歴35年。零石町に開業して30年いろいろありました。

現在日常の診療以外に関係していることは次の通りです。

#### \*医師会関係\*

郡医師会理事

岩手県医師会学校医部会幹事

岩手県小児科医会理事

岩手県医師会国民健康保険組合会議員

毎月一回盛岡夜間診療所勤務

#### \*町において\*

就学指導委員会

校医

幼稚園医

岩手郡小中学校結核対策委員会

乳幼児健診年24回（保健センターにおいて）

三種混合、麻疹、個別接種（自院にて）

日脳、風疹、集団接種（保健センターにおいて）

レセプト審査のため毎月8回岩手県支払基金へ。

趣味として、高校時に始めたトランペットと25年前に始めたテナーサックスは今も継続。年365夜ほとんど練習しない夜はなし。還暦記念チャリティコンサート、次女一時帰国・開院30周年記念ファミリーコンサートを零石野菊ホークにて開催。12月には町のチャリティコンサートに毎年賛助出演。

クレー射撃は今春、県会長を辞し、選手として現役復帰？毎週3回花巻射場へ練習に。夏場は週2～3回、3キロほどジョギング。冬は週3回スキー場へ。また自宅から診療所までと駐車場の除雪。春から秋は妻と庭木の剪定と草取り。私はライオンズクラブ、妻は国際交流のメンバーのため年中ホームステイの外国人が絶えません。

今は子供たちが独立し、妻と仲むつまじく？とにかく365日、朝から寝るまで、ほとんどじっとしていることのない毎日です。元気でやってます。

## 山田小児科内科医院 山 田 わか子



84歳のお母様と共に。(山口淑子)

築23年、少々痛みが目立って来た医院を全面改装しました。床はフローリング、天井や壁紙を張り替え、窓枠やカーテンを取り替えたら、スッカリ明るくなつて、子供達やお母さん達にも好評。

職員も気持ち良いらしく、動きが軽やか。

7月4日プラザおでって、東北外来小児科学研究会、三浦先生に敬意を表して職員全員連れて8名で参加。

とっても楽しい心にしみるお話を聞けて皆感激。予防接種も子育ても小児科ならではの役割を再認識。特に内海裕美先生の母親の真情に溢れた子育て支援の話は1時間半飽きさせない内容の豊かなもので、来て良かった。連れて来て良かったと思いました。

ここ3年ばかり84歳になる母の入退院で人並に介護を体験。注文の多い老人になってしまった母にしばし絶句、立ち往生の日々がありました。今は又病院のお世話になっています。

還暦+1の今年、何かと用事多々です。

## 伊藤小児科医院 伊 藤 伸 郎



写真を撮る機会が殆どなくなった今日のごろとのこと。甥子さんの結婚式でのスナップがみつかりましたと送って下さいました  
(山口淑子)

平成元年に西根町に開業しまして16年目になりました。かつて乳児健診に見えた子供さんが見上げるような高校生になって来院すると、月日の早さに驚かれてしまいます。診療につきましては何も特別な事はやっていませんが、気楽に相談しやすい診療所を目指しています。また麻疹ワクチンの早期接種や風疹流行徵候などの情報が入れば、早期に町に伝えて広報してもらい、少しでもワクチン

の接種率が上がるよう努めています。最近では、乳児健診で「落ち着きのない子」と「注意欠陥多動性障害」のどちらだろうという質問が

相次ぎ苦慮することがあります。時代の返遷を感じてしまいます。当医院には、おじいさん、おばあさん、若いお父さん、お母さんが、孫や子供さんを連れて見えるわけですが、最近では「心配で」見えることはもちろんですが、「早く治して」という要望の方が強く～子供の免疫状態を考えれば無理な話なのですが～「時間的余裕の無い子育て」を痛感してしまいます。家庭医としては、患者さんにとって「気楽」で「便利」が大切なと思う今日この頃ですが、それに「信頼」が加わるように努めていきたいと思っています。趣味は読書くらいになってしまいましたが、現在はリチャード・フォーティ著「生命40億年全史」を興味深く読んでいます。

## 山口クリニック 山 口 淑 子



電子カルテを平成15年11月導入。向い合ったクラークさん（開業以来一緒にやっている事務スタッフ）と楽しい診療をしています。患者さんとのおしゃべりの時間がたくさんとれるようになりました。（山口淑子）

平成9年3月、20年間の国立療養所盛岡病院勤務にピリオドを打ち、現在地で小児科・アレルギー科を開業しました。小児慢性疾患の長期入院療法をやってきた国立では、最盛期には130人近くの小児の入院患者がおりましたが、その減少に伴い、また私たちの金字塔だった根本紀夫先生が亡くなられてからというもの、小児科に対する風当たりが強く、骨を埋めるつもりであった私も「えーい、やめてやる！」ということで開業に踏み切ったのです。今では結構楽しく診療しており、国立をやめるきっかけを作ってくださった方々には感謝している次第です。

さて滝沢村には山田わか子先生と2人小児科医がいます。山田先生とは診療域が異なっており、集団乳児健診、集団予防接種など分担して頑張っています。しかし小児科医の少ない村にて、どうしても学校医、幼稚園、保育園医など他科の先生の応援を得ており、せめて保育園医だけでも小児科医にやらせてもらいたいとお願いしている次第です。

また私のクリニックの一部で「病児保育キッズケアルーム風船」を設置しております。滝沢村の支援を受け一昨年5月に開所しました。徐々

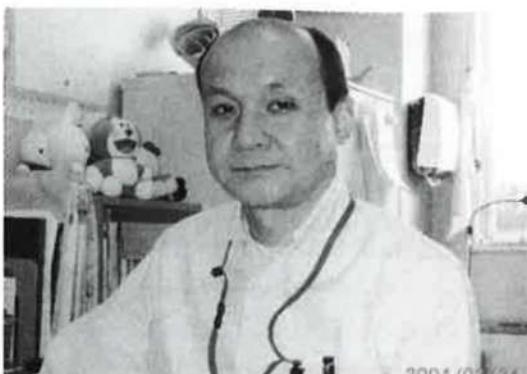
に利用者が増えていっておりますが、お向かいが盛岡市という場所がら盛岡市の方の利用も多く見られます。もう少し自宅療養が、まだ集団保育に入るのは、という病後のケア、急に具合が悪くなったがどうしても仕事に穴を開けるわけにはいかない、冠婚葬祭などで家族の都合がつかないといった病児をお預かりしております。今は骨折した児が毎日来所し、元気に走り回っておりますが、まだ保育園からの許可が出ないとかで…。このほか子育て支援センターでの若いお母さんたちへのお話とか、小、中学校での性教育、家庭教育学級での講演などに引っ張り出され、今までの免疫の、アレルギーの勉強とは違った、地域に密着した、そして30年間の小児科医生活の24年間の子育ての経験などを生かした診療、活動を行っています。

どうぞ応援してください。これからもよろしくお願ひいたします。



趣味に奮闘している山口の別の顔。どなたか、ご一緒に宝生流謡・仕舞しませんか。

## 東八幡平病院小児科 藤井 裕



2004/03/24

豊かな自然の中で若返った感じですよね（山口淑子）

1999年5月から松尾村のこちらの病院に勤務しております。岩手山と八幡平の麓で豊かな自然に囲まれ、地域の子供たちの診療にあたっています。予防接種はもちろん、小学校、中学校の校医を命じられ、学校保健会に出席したり講演を頼まれたりと、忙しい日々です。地域の病院

の性格上子供たちばかりでなく、時には高齢の患者さんも診察しなくてはなりません。必死で勉強しないと、とんでもない事になります。研修医になった気分ですが、やり甲斐もあります。

もちろん自分のスタンスは小児科医です。忙しい仕事をきりあげて昼食もそこに村の保健福祉センターでの乳児健診に駆けつけます。みんな見知った赤ちゃん達が勢揃いしていると、疲れもふきとびます。地域で診療されている諸先輩の先生方は皆さん同じ思いだろうなと、初めてわかった気がしています。

先日の東北外来小児科学研究会に初めて参加させて頂きましたが、示唆に富む演題と参加の方々の熱意に感動しました。初心にかえって子供たちに向かい合いたいと思った事でした。本当にありがとうございました。

## お知らせ

## 岩手郡医師会会員・家族等の健康診断実施のご案内

早春の候 会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、会員及び会員の家族、従業員の健康診断につきましては、毎年、地域を持ち回りで行っているところですが、平成17年度は、西根町を中心に下記により実施することに致しました。

受診を希望される場合は、別紙健康診断申込書により、**4月28日(木)まで**にお申し込み願います。  
(FAX可 0195-78-2555)

## 記

1. 日 時 平成17年6月3日(金) 午前6時半～同9時  
(受付時間 6時半～8時半)
2. 検診会場 西根町大更 西根町民センター
3. 対象者 会員と会員の家族及び従業員  
ご希望があれば、従業員の家族や関係する薬局等の方々も受診可能です。
4. 検診料 別紙「岩手県医師国民健康保険組合(平成17年度生活習慣病検診料金表)」によります。  
ただし、「医師国保」か「いわて医協(福利厚生)」の資格がある方は無料となります。  
医師国保等の資格がない方は、料金表(受診内容によって変わります。)による料金となります。
5. 検診実施機関 岩手県予防医学協会

※申し込み期限は4月28日としましたが、人数把握のためにお早めにお申し込み下さるようお願い致します。  
なお、追加申し込みや当日受付も致しますので、多数受診されます様ご案内致します。

## 編 集 後 記

この冬は雪の降り始めは遅く、その代わり3月になつても山のように雪が残っています。季節が遅めにすぎているような今日この頃です。

今年度の第3号の会報がなんとか発刊にこぎ着けました。これも一重に皆様のご協力の賜物です。これで今年度の予定はつづがなく達成されたと考えて宜しいかと安堵しております。

今回の表紙は高橋孝先生の作品です。新年にふさわしくおめでたい雰囲気があふれています。この独楽の如く美しく、軽やかに本年も回ってくれるといいのですが。

また岩手県の小児科医会報に掲載された岩手郡医師会の小児科医の紹介をお借りしました。会員先生方の意外な一面を見せていただき認識を新たにした方もいらっしゃると思います。紹介いただいた山口先生に感謝いたします。またこの掲載は小児科医会の承諾を得ていることを申し添えます。

来年度は4回の会報発行を予定しております。皆様の暖かいご協力を宜しくお願ひします。

次号は6月に平成17年度第1号を発刊の予定です。  
(成島)

岩手郡医報：No.80／2005年3月発行

発 行：社団法人 岩手郡医師会

発行責任者：岩手郡医師会会长 及川忠人

事 務 局：〒028-7303 岩手郡松尾村柏台二丁目

8番2号東八幡平病院内

電話 0195-78-2607

FAX 0195-78-2555

印 刷：株吉田印刷